



藍 綬

ヤンマー元副社長
(現相談役)

畑山 哲三氏

このたびは受章の栄に浴し、身に余る栄光です。これは私が長年にわたり携わって参りました船舶関連業界とヤンマーグループに与えられたものだと思っております。社内外でお世話になった多くの先輩をはじめ、業界や関係各位のご指導、ご支援に心より感謝申し上げます。

これを機により一層の研鑽に励み、海産産業全体の発展に微力を尽くして参りたいと思います。今後とも、変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



藍 綬

日本軽金属社長

石山 喬氏

このたびは受章の栄に浴し、大変栄光に存じます。昭和42年に日本軽金属に入社以来、主に製造部門に携わって参りましたが、今回の受章はその間に出会ったアルミニウム業界の皆さま、諸先輩や従業員の方々の温かいご支援のおかげと深く感謝申し上げます。アルミニウムには私たちの暮らしを豊かにし、地球環境の保全に大きく貢献する力があります。今後も、この受章を大きな励みとして、業界の発展と豊かな社会の実現のために貢献できるよう努力して参ります。



藍 綬

情報サービス産業協会
元副会長

関 隆明氏

このたび身に余る藍綬褒章の栄に浴し、誠に光栄に存じます。当業界の黎明期より、難関を乗り越えて来た同志ともども受章と思っております。世界トップレベルだったIT業界も、グローバル競争の中で立ち遅れが指摘されていますが、クラウド時代突入を機に蓄積してきた豊富な技術と経験を活かし、世界に打って出て行けば、再び世界をリードする地位が得られると信じています。自らは中小企業のIT利活用の促進に、今後も微力を尽くして参りたいと思っております。



藍 綬

山武社長

小野木 聖二氏

受章の栄に浴し、大変光栄に存じます。入社以来、計測と制御の分野で「省」の追求に努めて参りました。お客さまならびに諸先輩、関係者の皆さまのご指導とご支援を頂きましたこと、心から感謝申し上げます。心から感謝申し上げます。受章を励みとし、心を新たに計測と制御の技術で社会の発展に貢献し、アズビルの名のもと世界に類のない「人を中心としたオートマーション」を追求して参ります。人を大切にし、安心、安全で環境にやさしい社会の実現に向け、微力ながら最善を尽くして参る所存です。



藍 綬

徳島ニュービジネス
協議会会長
(阿波製紙社長)

三木 康弘氏

このたびは受章の栄に浴し、身にあまる光栄でございます。これは、諸先輩方や多くの関係者のご協力で築いてきた徳島ニュービジネス協議会のご評価と大変うれしく思っております。また当協議会の設立から参画し得たことに、心から感謝申し上げます。地域経済の発展に微力ながらも貢献でき、日本ニュービジネス協議会のご推薦を頂いたものと存じております。今後とも皆さまのご指導を頂き、さらなるニュービジネスの振興、地域の発展のため尽くして参りたいと存じます。

秋の褒章

喜びの声

《1面参照》



藍 綬

八千代銀行元頭取
(現会長)

片倉 洋氏

このたびは受章の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。入行以来、「金融業務を通じ、地域社会の発展、繁栄に貢献する」とする経営理念に基づき、一貫してその実践に努めて参りました。

今回の受章は地域のお客さま、関係各位の皆さまのご指導、ご支援のたまものであり、当行全役職員に対してのものとして受け止めております。皆さまに心より感謝申し上げます。今後とも、変わらない絆、共に未来へをモットーに地元地域の一層の発展に微力ながら寄与して参ります。



藍 綬

日本フランチャイズ
チェーン協会元会長
(サークルKサンクス
相談役)

土方 清氏

このたび藍綬褒章受章の栄誉に浴し身に余る光栄に存じます。40年以上にわたり流通業に携わって参りました。この間流通近代化への変革とともにフランチャイズ産業の成長と発展は目覚ましく、今やコンビニなど幅広い業種で地域生活を支える社会インフラとして大変重要な役割を担っております。受章はフランチャイズの成長を支え、育てて頂いた多くの皆さまを代表していただいたものと感謝しております。この栄誉の重みをしっかりと受け止め社会の発展に尽力する所存です。



藍 綬

大阪タオル工業組合
元理事長
(松藤テリ一相談役)

松藤 秀氏

このたび、藍綬褒章受章の栄誉に浴し、身に余る光栄でございます。業界存続のため国産タオルの流通安定化を図り、国内外の関係先と折衝を重ねた当時を思い起こします。皆の努力があることは大きな喜びです。分業体制で成り立つタオル業界は、まず産地として共存していく必要があります。さらに生産から流通までの体制を確立するため、製販の協力も欠かせないと考えています。今後とも皆さまのご支援の下、業界の発展へ一層努力を致す所存です。



紫 綬

東京工業大学教授

岸本 健雄氏

このたびは紫綬褒章をいただきまして、大変ありがたく思っています。多年にわたり一緒にやってくださった共同研究者の方々や研究室の皆さまに感謝しています。私はヒトデの卵を材料に、細胞分裂の周期に関する研究を行ってきました。今は世の中に役立つ研究をやるべきだといった風潮が強いですが、私は基礎的な研究を40年ほど続けています。今回、私たちの研究成果が評価されたことはこの上もない喜びで、今後も基礎研究を続けていきたいと思いま



紫 綬

東北大学教授

小柳 光正氏

身に余る栄光です。半導体集積回路が登場した初期から研究に携わり、世界に追いつけ追い越せという時代を経て、1980年代、日本の半導体産業の最盛期に貢献できたことはうれしく限りです。ただ、半導体産業の動きは速く、日本も安閑とはしてられない状況です。恩師の西澤潤一先生から受け継いだ「独創的な技術を世界に先駆けて提案する」という視点は、これからの日本にますます必要となります。この考えを私自身が実践しつつ、若い学生に伝えていきたいと思いま



紫 綬

東京大学教授

石川 正俊氏

超高速画像処理技術をベースに新しいシステムをいろいろと作ってきたことが、今回の受章につながったものと大変喜んでおります。システムを作ることは私一人ではできません。研究室のメンバーを始め、多くの方々の協力とご支援があつて初めて実現できるもので、一緒に世界のトップを走り続ける多くの仲間とともにこの喜びを分かちあおうと思います。今後とも関連技術をさらに研ぎ澄ますとともに、今まで見たこともないシステムを作る研究にまい進したいと思っております。



黄 綬

アイシン精機
工機工場安全管理
チームリーダー

鈴木 貞秋氏

このたびは受章の栄誉に浴し身に余る光栄です。この受章は職場の先輩や上司の指導、また幅広い技能・技術の習得や積極的な改善をさせてくれた職場環境のおかげだと思っております。入社以来一貫して、より良い金型づくりを目指し、日々愚直に取り組んできました。その中で、一つのことを長く続けることの大切さを知りました。この受章を励みとし、今後も「継続は力なり」で頑張っていきたいと思います。変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



黄 綬

般若鑄造所代表

般若 茂雄氏

このたびは受章の栄誉に浴し、身に余る光栄でございます。60年以上にわたり双型鑄造による高岡銅器作りに取り組みで参りました。伝統工芸の製作を通じて微力ながらも地域産業に貢献できたことを幸せに感じております。今後は後継者の育成にも力を注いで参ります。

今回の受章を励みに、皆さまにさらに受け入れられるような生活様式にあったモノづくりの発展を目指す所存でございます。一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



黄 綬

国峰印房社長

國峯 正美氏

このたび黄綬褒章受章の栄誉に浴し、身に余る光栄でございます。皆さまの支えがあつて受章できたものと考えており、大変幸せに思っております。60年にわたり印章彫刻職人として技術を磨き続けてきたほか、印章高等職業訓練校で30年指導員を務めさせていたなど微力ながら後継者育成という形で地域や業界の発展にいたさかなりともお役に立てたことはこの上ない喜びでございます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



黄 綬

オーエイプロト
取締役相談役

大坪 榮次氏

このたび黄綬褒章の栄誉を賜りましたことは身に余る光栄でございます。今回の受章は東広島地域職業能力開発協会を代表して頂いたもので、長年地域の産業人材の育成を通して、地域産業発展に貢献出来たのは、全産業からの協力を頂いた地域企業、大学や官庁の皆さま、協会関係各位の方々のご指導と支援の賜物と心より感謝申し上げます。今回の栄誉を励みに、本業の自動車試作も更に世界に喜ばれる製品を目指し、地域産業の発展に貢献できるよう努めて参ります。



黄 綬

諏訪信用金庫理事長

花岡 征好氏

このたび黄綬褒章の栄誉に浴し、身に余る光栄と感激しております。今回の受章については、今まで支えていただいた地域の皆さまに感謝申し上げますとともに、当金庫の諸先輩や全役職員が今まで取り組んできた努力や実績が評価を受け、金庫を代表して頂いたものと受け止めております。

今後とも受章に甘んずることなく、諏訪地域に本店を置く地元金融機関として、役員員とともに一丸となって地域社会の繁栄と発展に貢献するよう努力して参ります。



黄 綬

長野信用金庫理事長

原 徹爾氏

このたびは受章の栄誉に浴し、身の引き締まる思いでございます。お客さまをはじめ、先輩を含めた役職員の支えがあつての受章で私個人といったものも長野信用金庫が頂いたものと受け止めています。私も信用金庫は地域の金融機関です。地域から信頼された証が預金であつて地域貢献が貸し出しであると考えます。これからお客さまのために必要な情報を提供し、ご相談にも応じるコンサルティング機能を強化していくことで地域貢献を果たしていきたいと思いま



黄 綬

姫路信用金庫理事長

三宅 知行氏

このたび黄綬褒章の受章の栄誉に浴し、大変光栄に存じます。昨年、当金庫は創立100年を迎えました。私自身も金融業界に籍を置いて40年あまり、一生に一度の機会を体験できます。これは、諸先輩の功績と、地域の方々の下支えがあつてのものと感じております。

これからも、この栄誉に恥じることなく、当金庫の基本理念である「地域社会の住民生活と産業経済の発展に奉仕する」ために、尽力する所存です。



黄 綬

兵庫県信用組合元理事長
(現理事長)

森下 章氏

このたび黄綬褒章受章の栄誉に浴し、身に余る光栄でございます。入社以来51年間、地域に密着した金融機関としての使命を果たすべくまい進して参りました。また、兵庫県信用組合協会会長として、信組業界の対外的な周知活動にも取り組んでおります。経済情勢は厳しいですが、当組合は従来同様に堅実に内部留保を積み重ねて基礎体力を蓄え、取引先と手を携えて、地域経済に貢献できるよう努力する所存です。今後とも皆さまのご指導を賜りますようお願いいたします。